

正覚山しょうがくざん  
ぜんぎょうじ  
善巧寺



本堂外観



本堂内陣

当寺は、もと東京都世田谷区世田谷二丁目（現在の世田谷区豪徳寺一丁目）に、開基住職である榎本晃承が説教所を開設したことに始まります。昭和十四年六月十一日に本堂が落成となり、昭和十七年には児童福祉施設善巧児童園（後のぜんぎょう幼稚園）が開設されました。以来、布教活動、幼児教育に尽力して参りました。

昭和六十一年、少子化によりぜんぎょう幼稚園は閉園となり、開基住職の「お念仏の声が聞こえないところにお念仏を」という念願を受けた第二代住職榎本 眞が、現在の春日部市備後東四丁目に寺基移転を果たしました。昭和六十二年十月十一日には、本堂・客殿・庫裡・会館落成慶讃法要が勤修され、現在の善巧寺の姿となっております。

説教所開設以来、毎月十一日の定例法座は怠ることなく、また月刊善巧寺報による文書伝道活動も展開しております。

寺宝といたしましては、二河白道（銅版画・作者不詳）がございます。

恒例法要・法座

- 定例法座 毎月十一日 午後二時より
- 永代経法要 毎年五月下旬
- 報恩講 毎年十月下旬
- 春秋彼岸会
- 盂蘭盆（歓喜会）
- 除夜会 大晦日

著作等

- 『二河白道讃話』榎本晃承著（百華苑刊）
- 『解説礼拝聖典―浄土真宗の教え―』榎本教真（眞）編（百華苑刊）



二河白道図